

# 新基地阻止 民意変わらず

## 辺野古で最高裁

# 不当判決

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設計画をめぐり、最高裁第1小法廷は、基地押しつけの不当判決を下し、沖縄県の上告を棄却しました(4日)。玉城デニー知事は、「新

基地建設阻止の県民の意思が変わるものではない」と強調しました。

### 完成の見通し立たず

新基地は米軍普天間基地の代替えとして計画されましたが、埋め立て予定地に「マヨネーズ並み」の軟弱地盤が広がっていることが判明。防衛省が県に設計申請したのに対し県は不承認としました。理由は▽地盤



「不当判決は許さない」と声を上げる海上行動参加者=5日、沖縄県名護市辺野古の大浦湾

改良には9年かかり、普天間の危険除去につながらない▽軟弱地盤は水面下90センチに及んでいるのに工事は70センチまで▽ジュゴンなど環境への影響が甚大—など。

判決は、設計変更不承認の県の主張を認めませんでした。が、「新基地ノー」の民意は明確。基地完成の見通しは立っていません。

折り目

# 無謀 無策 無責任

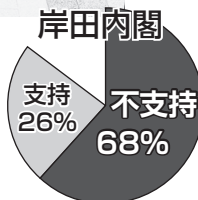
## 極まる岸田政権

## 汚染水放出 約束反故に

約束を反故にした原発汚染水(アルプス処理水)の海洋放出、マイナカードのトラブル続出…。岸田政権の無謀、無策、無責任な姿勢が極まり、内閣支持率も低迷しています。



汚染水の海洋放出やめよと訴える人たち 8月31日、首相官邸前(しんぶん赤旗)提供



岸田内閣  
「毎日」(8月26、27日調査)

## 日本共産党

野村農水相が「アルプス処理水」を「汚染水」と表現すると、岸田首相は即座に撤回・謝罪を指示しました。“言葉狩り”のような異常な反応です。

政府と東京電力は汚染水については、「漁業者など関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束(2015年)。ところが、この約束を無視し海洋放出を強行しています。

野村農水相は、中国が日本産農水産物の輸入停止をしたことを「想定していなかった」と発言しました。しかし、理解を求めるべき「関係者」には近隣諸国も含まれます。

約束を守らず、説明や対話という外交努力も行わない—岸田政権の無謀・無責任さが際立っています。【裏面に続く】

### 総選挙 近畿の比例名簿掲載予定者

### 日本共産党



元参議院議員・新47 たつみ ゆき子



党京都府常任委員 新36 堀川 あきこ (京都2区重複)



衆議院議員(2期) 前55 清水 ただし (大阪4区重複)



党兵庫県常任委員 新48 こむら 潤 (兵庫3区重複)

制度解説

衆院選挙 投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます 政党名を衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

選挙区は「候補者の名前」で

## 近畿民報

2023年9月No.2(第566号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。